

大村市の橋の今とこれから

特徴1

架設年次が判明している橋梁においては、高度経済成長期に架設されている橋梁が多い。

架設後40年～60年の橋が多い

特徴2

架設年次が不明の橋が多く、全体の約59%を占めている。

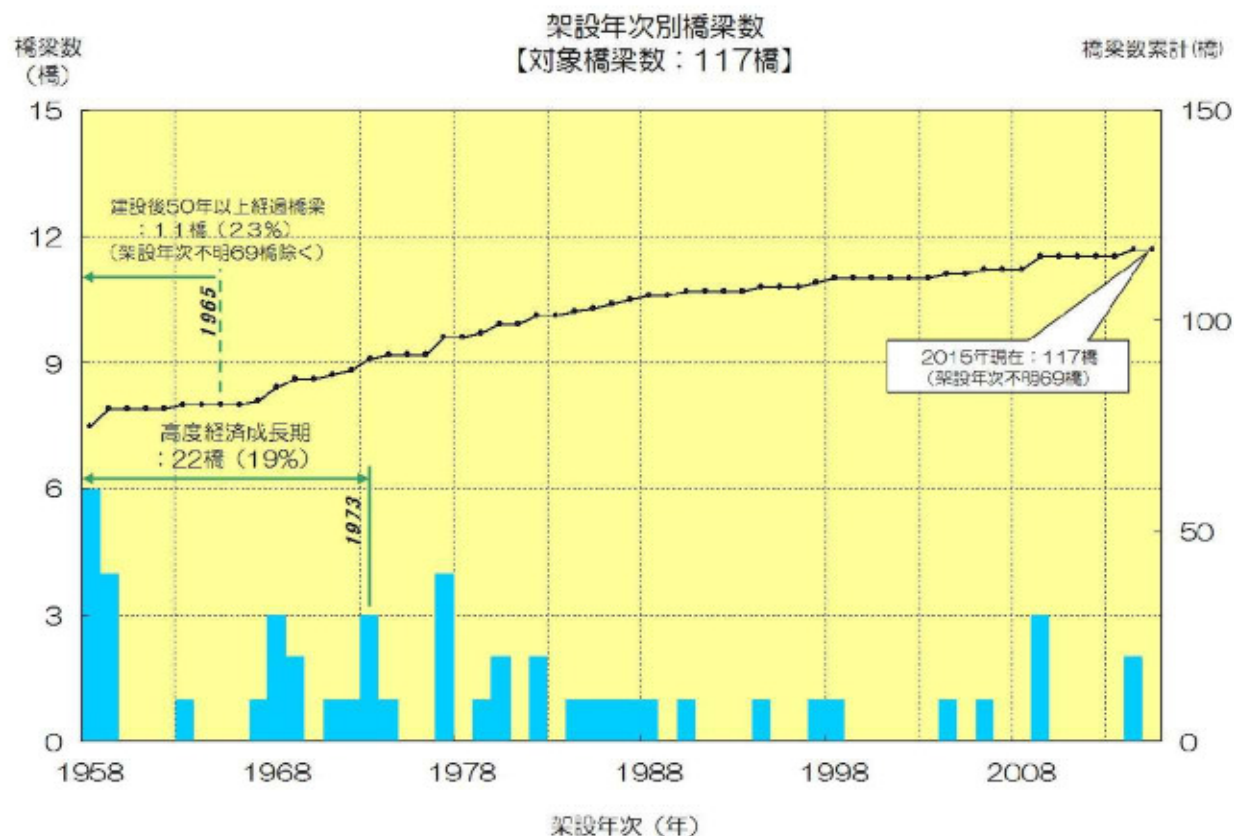
特徴3

西側に大村湾があり、海風の影響により塩害を受けやすい環境にあります。

海風の影響で橋が劣化しやすい

今後急速な補修補強費の増大が予想される！ ➡ 橋の状態を常に把握し、計画的に対策を施す必要がある。

架設年次別橋梁数(橋長15m未満)

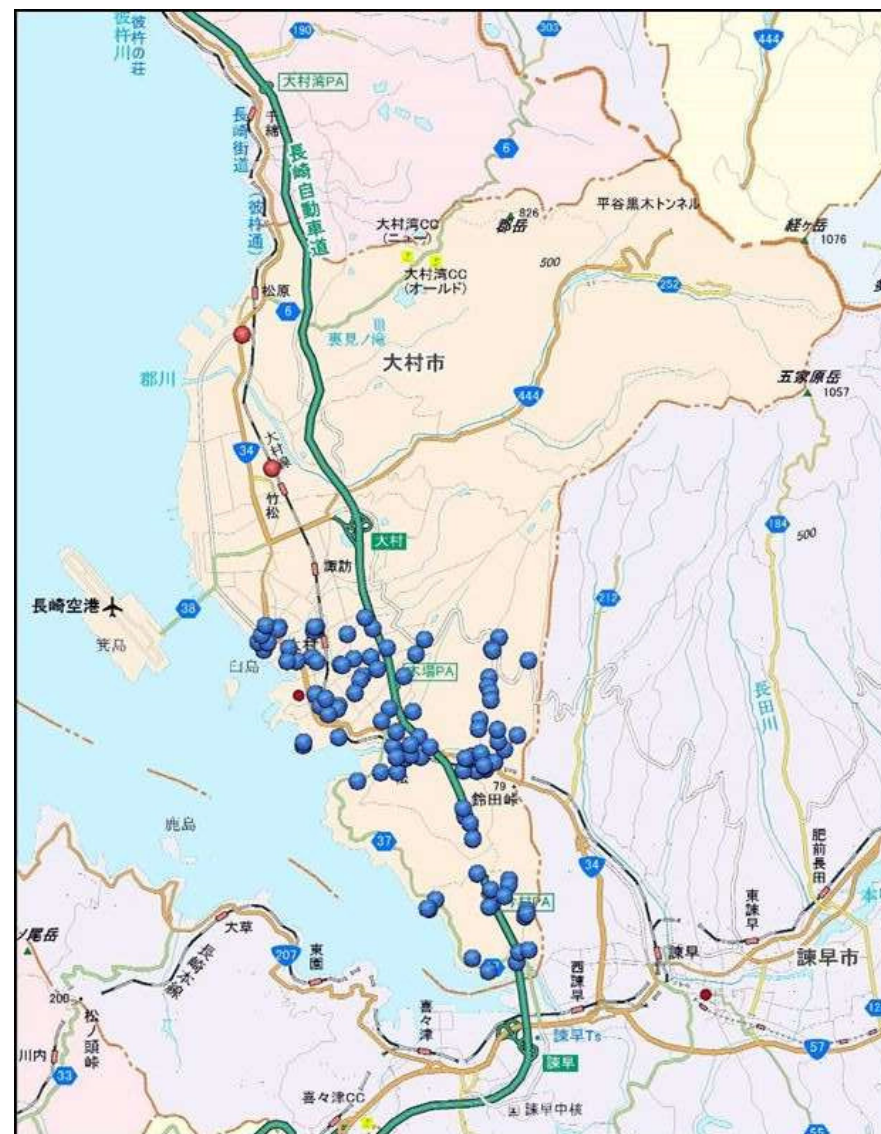


※同一橋梁で橋種が異なるため、107橋を117橋として分析している

大村市の橋の特徴

大村市は多良山系の西麓、大村湾の東岸に位置する。大村平野は県内でも数少ない、まとまった面積を持つ平坦地でもある。平野部が比較的広く生活の不便が少なく、平野部から山間部にかけてはなだらかな起伏となっている。市の東部は標高1,076mの経ヶ岳を筆頭に多良山系の切り立った山地から流れ出る、郡川・大上戸川・内田川・鈴田川・東大川などが市内を流れている。

- 【大村市15m以上橋梁群】
・ 草葉橋・立小路橋 (2/107橋)
- 【大村市15m未満橋梁群】
・ 横山橋・小川内橋など (105/107橋)



橋の健康状態を知るために

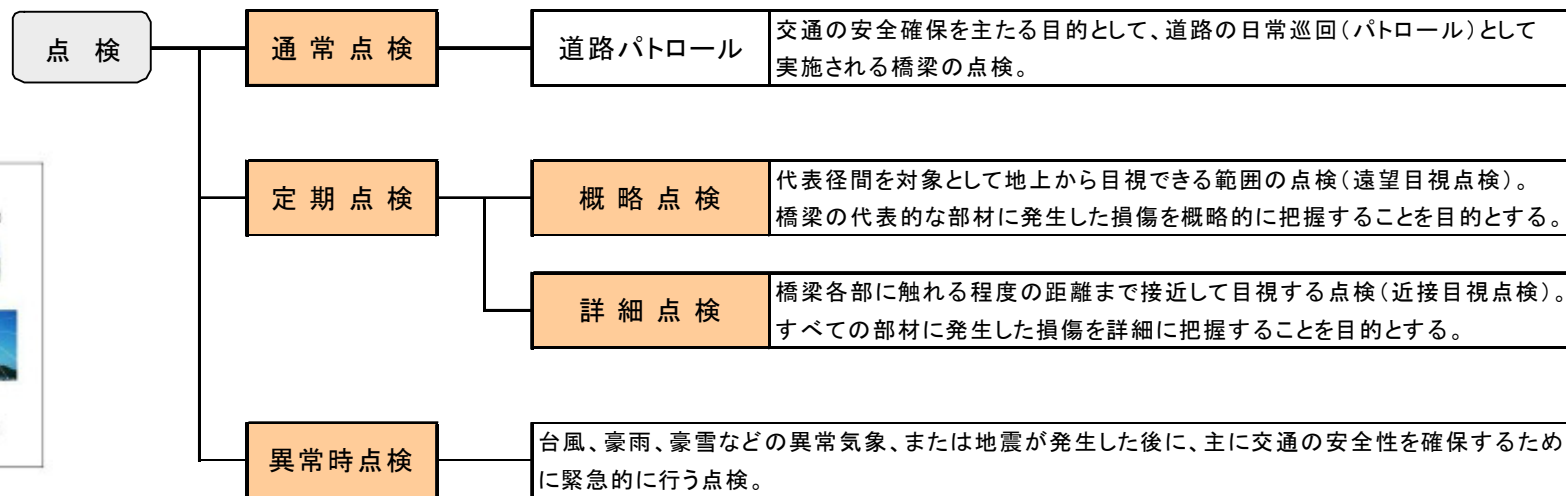
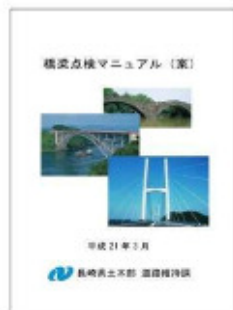


効率的に橋梁の健康状態を調査

長崎県は、橋の点検を、効率的かつ低価に実施することができるように、橋梁点検マニュアルを整備し、橋梁点検支援システムを構築しました。また、点検の体系についても確立しています。

大村市においても、長崎県により整備されている橋梁点検マニュアルを利用して概略点検を行うことにより、管理している橋の健康状態を効率的に把握することができました。

今後も定期的に点検を実施し、橋の健康状態を常に把握し、適切な維持管理を実施していきます。



橋の寿命を延ばすために

橋は市民の大切な財産です ⇒ 次の取り組みにより橋の寿命を延ばして財産を守ります

- 橋梁点検結果により、架替え検討もしくは修繕が必要と判断した橋については、**今後10年以内**で対策を実施します。
- 他の橋についても定期的な点検及び早期の修繕に取り組み、橋を長持ちさせます。 → **予防保全型への転換**を図ります。
- 定期的に点検を実施し、橋の健康状態を常に把握します。
- 財政状況を考慮した対策を実施し、**効率的な維持管理を実行**します。

今後の点検・修繕計画

| | 単位 | H27 計画 | H28 計画 | H29 計画 | H30 計画 | H31 計画 | H32 計画 | H33 計画 | H34 計画 | H35 計画 | H36 計画 | 合計 |
|---------------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------|
| 点検計画 橋梁数 | 橋 | 1 | 1 | 5 | 56 | 53 | 3 | 2 | 1 | 53 | 56 | 231* |
| 修繕計画 橋梁数 | 橋 | 0 | 1 | 1 | 5 | 8 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0 | 19 |
| 修繕・架替え 事業費 | 百万円 | — | 1.1 | 5.5 | 4.2 | 3.3 | — | 1.6 | 0.3 | — | — | 16.0 |

*点検計画橋梁数の合計については複数回点検を実施する橋梁があるため、対象橋梁数とは異なる。

橋の健全性を向上させ、安全で安心な橋を保ちます。

長崎県市町橋梁長寿命化検討委員会

本委員会では、橋梁長寿命化修繕計画の策定にあたり、学識経験者等の意見を聴取し、計画に反映させております（平成27年3月開催）。

委員会における議事内容の抜粋

- ◆各市町における管理橋梁について、小規模で予算的に圧迫しない程度の橋梁については、架替えも含めた上で、検討を行い、補修か架替えかの選択を行うことが望ましいと思います。
- ◆今年度から定期点検により、近接目視点検が実施されています。今回の事例では、鋼橋とコンクリート橋において類似の事例が多く確認されていますので、県内で情報を共有しながら、維持管理手法について確立させていければと思います。



- ◆長崎県下各市町が「橋梁の定期的な補修によるコスト縮減効果」と「橋梁の規模に応じた架替えと補修との検討」の両方について考慮して維持管理に取り組むことが必要です。
- ◆社会資本を維持管理していくということは市民の財産を守ることであるということを念頭に置いておくことが重要です。

橋の長寿命化修繕計画

今回、対象となった15m未満の107橋について長寿命化修繕計画を策定しました。

点検によって捉えた劣化損傷に対して、修繕が必要な橋から早めの対応を行うことにより予防保全型へと移行し、安全性を高めるとともに、将来にわたって維持修繕にかかるコスト縮減を図ります。

今後は計画に従って点検・修繕を行い、必要があれば計画の見直しを行う予定です。

長寿命化修繕計画の実施方針

- ◆点検結果より修繕が必要と判断された橋は、**今後10年以内**に対策を完了し、維持管理水準を高めます。
- ◆長寿命化修繕計画策定後は、橋の維持管理を**予防保全型**へと移行し、**安全性の確保**と**コストの縮減**を図ります。
- ◆今後は定期的に点検を実施し、必要に応じて計画の見直しを行います。
- ◆修繕にあたっては予算の平準化を図りながら、計画的に実施します。